

令和6年度 氷見市教育総合センターだより 第2報

調査研究事業「学力向上推進委員会」

本年度、新たに調査研究事業として「学力向上推進委員会」を立ち上げ、児童生徒の学力の底上げを目指して事業を推進していきます。第1回推進委員会では、事業内容の確認と年間の活動計画の共通理解を図りました。推進委員長をはじめ、小学校4名、中学校2名の推進委員の皆さんの協力によって、学力向上に向けた次の取組を行う予定です。

- 全国学力・学習状況調査結果の分析
- 「学力向上だより」等での啓発（年3回）
- 学習の確認問題集の作成・配布



<第1回学力向上推進委員会>

調査研究事業「ICT教育推進委員会」

本委員会は「各校でICT活用推進計画に基づいた取組を進めるとともに、情報活用能力の育成に向けた調査・研究を行う」という目的の下、活動を進めていきます。

今年度の主な活動内容は、次のとおりです。

【情報活動能力に関する体系表の作成】

児童生徒が必要な能力を身に付けられるよう、情報活用能力の具体例を示した体系表を作成する。

【ICT活用の推進】

各校で推進委員が中心となり、各校の実態に応じた「ICT活用推進計画」を作成し、実践する。

【活用事例の収集】

学期に1回程度、授業や校務等でのICTの活用事例をまとめ、HP「まなDX氷見」に掲載する。



今後、推進委員で協議を重ねながら、体系表の作成に取り組みます。また、推進委員が各校のリーダーとなり、着実に実践を進めます。

ICTの積極的な活用や研修会への参加等、ご協力をお願いいたします。

第1回ICT教育推進プロジェクト会議

5月30日（木）

指導助言：富山大学大学院教職実践開発研究科 教授 長谷川 春生 先生

氷見市のICT教育における目指すべき方向性や方策等について、幅広く意見交換や情報共有を行うため、関係者が一堂に会して、第1回ICT教育推進プロジェクト会議を開催しました。



会議の主な内容は、次のとおりです。

- ・昨年度の取組の振り返り
- ・今年度のICT教育推進委員会の活動計画やICT環境整備についての説明
- ・教育ソフト関連企業からの説明
- ・ICT教育推進計画についての情報交換

会議に参加された両校長会長からは、「作成する体系表がICT教育の学びの積み上げの目安となればよい」「ICT活用を推進していく上での悩みについて情報交換できる場があるとよい」等のご意見をいただきました。

長谷川先生からは、ICT活用の方向性として、特に以下の点について教えていただきました。

- ICTは子供たちの主体的な学びのために使うものである。子供たちの学びを楽しくするために使う、充実させるために使うということを忘れてはいけない。
- ICTを活用していく力は、これからの時代を生きていくために、どうしても必要な力である。アナログとデジタルのよさを使い分けながら、子供たちにとってベストなものを提供できるように努めてほしい。

教育実践記録等のまとめ方・書き方のポイント研修会 5月29日(水)

講師 教育総合センター 教育指導主事 谷内口まゆみ 先生

谷内口先生からは、「書くことは人を確かにする」という論文・実践記録を書くことの意義を教えてくださいました。今回は、「実践記録の概要(流れ)を知る」「モチベーションを上げる」ことを目当てに、執筆の大まかな流れから、主題設定や全体構想、視点のもち方のポイントまでを、丁寧に分かりやすくお話いただきました。問題意識をもって、日頃の実践を振り返り、自分のテーマを明確にして子供たちの姿を追いつけること、実践を積み重ねて記録を残していくことの大切さについて学ぶ研修会となりました。(次回 10/8 予定)



＜具体的な子供の姿とは？＞

＜参加者の声＞

- 何をどのように進めていけばよいのか、一から丁寧に教えていただき、自分のやるべきこと、やりたいことが見え、前を向いていく気持ちになった。
- より具体的な姿として思い描く意欲が湧いた。「書くことは人を確かにする」、今目指す子供像を3月までぶれずに目指し続けていけるよう、自分の思いや子供の実態を書き留めていこうと思った。

WEBQUを活用した魅力的な学級づくり研修会

6月4日(火)

講師 早稲田大学 教授 河村 茂雄 先生



WEBQUを開発された河村 茂雄 先生をお招きし、WEBQUの効果的な活用について研修しました。先生は、WEBQUを実施することで、子供の情報と対応指針が提供され、また、そのデータを可視化し、教職員等が援助ニーズのレベルを揃えて共有・活用することで、負担軽減と効率的協働がもたらされると、「チーム学校」と「働き方改革」に視点を置いて話されました。

震災で被災した子供への対応として、先生は、一人一人の状況・状態を確実に把握すること、そして何より、特別なことをするのではなく、普段どおりの指導・支援に努め、日常生活の安心・安定を図ることが大切であると力説されました。

＜参加者の声＞

- 支援は、問題行動が目に見えている「三次的支援」が必要な子供だけでなく、「二次的支援」レベルの子供にこそ必要であることが分かった。
- 学級満足群にいる子供が、「二次的支援」の必要な友達に手を差し伸べ、サポートする親和的な関係をつくっていけるよう、先回りのナビしてくれるWEBQUを活用したい。
- 多様な人々とチームとして課題に向き合い、解決していくために、共通理解を図ってスタートできる場を大切にしたい。

第1回幼保小接続研修会

6月14日(金)

テーマ「幼保小接続の課題を乗り越えるために連携を深める」

講師 山梨県立大学 教授 阿部 美穂子 先生

毎年、市役所子育て支援課と共に実施しています。第1回は、以下の内容で学びを深めました。

① ワークショップ：小学校入学時にみられる課題について

小学校グループ、園グループに分かれてワークショップを行うことにより、共通の課題がみえてきました。それを乗り越えるために、様々な手立てを出し合い、参加者で共有しました。

② 校区別の情報交換：「わくわく・きときとカリキュラム」について

行事予定を持ち寄り、今年度の幼保小接続に関する活動について検討することにより、今年度の幼保小接続について、見通しをもつことができました。

③ 講評とまとめ：山梨県立大学 教授 阿部 美穂子 先生

「『子供が安心できる』ことがすべての土台である」ことを学びました。子供たちに「分かる・できる・安心」を感じさせるため、日頃から信頼関係を深めながら、安心できる環境づくりに努めていきたいものです。



＜ワークショップ＞

第1回 氷見市いじめ問題対策連絡協議会

6月18日（火）

「氷見市いじめ問題対策連絡協議会」は、学校、教育委員会、関係機関及び団体が連携し、いじめの未然防止や早期発見・早期解決を図るために、氷見市いじめ問題対策連絡協議会設置要綱に基づいて、年2回開催します。第1回目は、委員長である金原礼子校長先生（小学校長会長）に司会をお願いし、市内のいじめ問題の状況等について協議しました。各委員より、次のような意見が出されました。

- これから教える必要があるのは、ものの伝え方だと思う。アサーショントレーニングにより、言い方を変えれば、いじめはなくなるのではないかな。
- SNSのいじめは増加傾向にある。犯罪行為につながる場合は、適切に対応していく。特に、命に関わる案件については、捜査をして積極的に関わってきたい。
- 学童保育では、子供は考えずに言葉をストレートに使う。それが相手にどう伝わるのか、どう自分にはね返ってくるのか、考えていない。低学年から言葉の指導をし、いじめの連鎖をなくしていくことが大切である。
- 家庭、学校、地域が三位一体となって子供を育てていくことが大切である。いじめの背景には、地域のつながりの希薄さ、イライラやストレスによるものもあり、原因をなくしていくことも大切である。
- 笑顔で挨拶を返してくれる子供は大丈夫だが、下を向いて行く子供は心配である。声をかけることが大切だと思う。今必要なのは、コミュニケーション。相手を責めないこと、笑顔、挨拶だと思う。

令和6年度の小中連携教育

～9年間の学びをつなぐ、支援をつなぐ～

各中学校区の実施計画－1学期－

※2・3学期の計画等、詳細については『小中共通フォルダ＞教育総合センター＞01-小中連携教育＞★R6計画書・報告書』をご覧ください。

	今年度の重点事項	推進委員会・連絡会議	合同研修会、学習指導等	生徒指導、小中連携行事等
南部中学校区	◇連携による豊かな心の育成と基本的生活習慣の確立、「学びの連続」による学力の向上、児童生徒理解の推進	○校区3校校長会 ○小中連携推進会議 ○一斉部会（学習指導部会、生徒指導部会、家庭・地域連携部会） ○校区3校教頭会 ○各部会	○乗り入れ指導の実施 ※保健体育科：5月 ※音楽科・・・南部中と朝日丘小、十二町小 ○学校訪問・ICT研究授業への授業参観 南部中（6/3） 南部中（6/20） ○学校訪問研修会への授業参観 十二町小（7/1）	○メディアコントロール週間 ・5月10日（金）～16日（木） ・6月17日（月）～25日（火） ○さわやか挨拶運動（6月） ・3校及び氷見高校で合同実施 ○児童生徒の情報交換
北部中学校区	◇9年間の学びをつなぐ、支援をつなぐ	○小中連携会議（教頭） ・学期に1回程度開催	○授業公開、研究会への参加 ○学校訪問等における授業参観 比美乃江小（6/12） 北部中（6/17） ○中学校教員による小学校への乗り入れ授業、協議会（海峰小：体育5/15） ○全国学力・学習状況調査の分析結果についての成果や課題の共有（8月）	○「中1ギャップ」解消のための小学校教員による授業参観と懇談会（6月） ○家庭学習週間の設定（6月） ○小中合同挨拶運動（6月） ○規律に関する問題点の確認、共通項目の選定（7月）
十三中学校区	◇学習指導、生徒指導における情報交換を密に行うとともに、よりよい指導方法の研究や指導方針の共通理解を図り、教職員の指導力の向上を図る。	○小中連携推進委員会 	○児童生徒の学習面での情報交換 ○校内研究授業の参観・協議会 ・学校訪問研修会（湖南小7/2、十三中5/27） ○家庭学習での連携（6/17～6/25） ・家庭学習時間の確保 ○陸上競技実技指導（湖南小5/1） ○学習指導部会（教務・研究主任） ・全国学テの結果の共有と今後の対策	○児童生徒の生活面の情報交換 ○十三校区ネットルール作成 ○メディアコントロール週間（6/17～6/25） ○のぼり旗作成（6月） ・贈呈式（湖南小） ○さわやか挨拶運動（湖南小6月） ○きずな森整備活動（7/19）
西條中学校区	◇9年間を見据えた主体的・対話的に学びを深める児童、生徒の育成	○推進委員会（教頭） ○連携実務者会議（教務主任）	○乗り入れ授業（陸上） 宮田小（5/9） ○学校訪問研修会への授業参観 窪小（6/10） 宮田小（6/26）	○挨拶運動（6月） ○家庭学習週間 ○ネットルールの策定（生徒会、児童会） ○新1年生についての情報交換（カ指等、小学校教頭） ○小中合同海岸清掃
西の杜学園	◇なりたい自分に向かって、挑戦し続ける子供の育成～自らチャレンジ「伸びる 深める 繋がる」～	○ブロック部会（前期・中期・後期） ○アクションプラン部会 「自分の考えをもち、進んで学ぶ」 「相手を思いやり、よりよく人と関わる」	○教科担任制による教科指導の充実 ○9年間を見通したカリキュラム編成 ・1～9年生までの系統性を大切にしたいふさと学習 ・プログラミングの専門家による系統的なプログラミング学習	○異学年交流活動 ・気付き支え合い清掃（全校縦割り） ・運動会 ・ネットルールの作成 ・挨拶運動 ・アウトメディア運動

夏季研修会の予定

教員の資質・能力の向上及び本市教育の充実・発展を図るため、夏季休業中において下記の研修を計画しました。多くの先生方が受講されることを期待しています。

URL か QR コード (送付済み) で、7月12日 (金) までに申し込んでください。



★印は「中堅教諭等資質向上研修」における「選択研修」の対象となります。

夏季休業中における研修会名・内容・講師等		実施日・会場	対 象
1 ★	学力向上研修会 (令和のとやま型教育推進事業) ○講師 大妻女子大学 家政学部児童学科 教授 澤井 陽介 氏 「問題発見・解決能力の育成等、学力向上に関する内容」	7月31日 (水) 14:00～16:40 教文 4Fホール	・事業周知のため 各校1～2名 ・希望者
2 ★	教育セミナー ○講師 大空小学校 初代校長 木村 泰子 氏 「子供を主語にする学校づくり」(仮)	8月2日 (金) 14:00～16:30 氷見市ふれスポ	・希望者
3	ふるさと教育研修会 — 「ふるさと氷見」を活用して— ○講師 氷見市教育委員会学芸員外 ○会場 市立博物館、柳田布尾山古墳、氷見ラボ水族館等	8月6日 (火) 13:00～16:45 市内各会場	・新規採用教員、 今年度氷見市へ 転入した教員等 ・希望者 ※講師参加可
4 ★	生徒指導研修会 ○講師 信州大学 教授 上村 恵津子 氏 「児童生徒支援に向けた保護者との関係づくり」(仮)	8月7日 (水) 9:30～12:00 教文 4Fホール	・希望者
5 ★	道徳セミナー ○講師 畿央大学 教授 島 恒生 氏 「『主体的・対話的な学び』を実現する道徳科の授業づくり」(仮)	8月19日 (月) 9:00～11:30 教文 4Fホール	・希望者

おすすめ図書の紹介 — 昨年度の年間貸し出し冊数は、約120冊でした！ —

初等教育資料、中等教育資料、生徒指導、教職研修、指導と評価等…教育総合センターには、月刊誌等が豊富にそろっています。また、「令和のとやま型教育推進事業」教育実践研究会の講師：玉置崇先生著、学力向上研修会の講師：澤井陽介先生著等の新着図書があります。その他、ICT活用や授業づくりに関する図書をそろえていく予定ですので、積極的にご利用ください。

貸し出し・返却等は、棚入れでも、代理の方のご持参でも結構です。「こんな図書を読みたい」等の希望がありましたら、遠慮なくお知らせください。



新着図書の紹介

図 書 名	著 者・発 行
中学校学級レク大事典：3年間まるっとおまかせ！	玉置 崇ほか 明治図書出版
中学1年(2年・3年)の学級づくり365日のアイデア事典	玉置 崇ほか 明治図書出版
これからの社会科教育はどうあるべきか	澤井 陽介ほか 東洋館出版社
本当に知りたい社会科授業づくりのコツ	澤井 陽介 明治図書出版
小中社会科の授業づくり：社会科教員はどう学ぶか	澤井 陽介ほか 東洋館出版社